

# ～宮古保健所からのチーム愛～



## グループ I 発表

菅原(山形)、大熊(山形)、篠原(京都)、  
高橋(高知)、原(長野)、田花(大阪)

# 宮古保健所までの道程

- 11:45 出発  
R4~R104  
(閉伊街道)
- 12:55 昼食・定時連絡
- 13:28 道の駅状況  
確認・トイレ
- 14:03 県庁へ定時連絡
- 14:59 宮古保健所着  
約100km  
3時間14分  
(連絡・休憩52分)



# 出発直前同方面隊との打合わせ



済生会岩泉病院派遣隊  
(Gグループ)  
毎時0定時連絡

県立宮古病院派遣隊  
(Hグループ)  
毎時30分定時連絡

移動中の情報収集の分担  
などのブリーフィング

# 衛星携帯の実践使用について



山間部での電波指向性

通信に安全な場所の確保

「定時」の連絡の不自由さ

コトバ・意味の伝わりにくさ

# 到着したものの、電波が拾えるのは 駐車場だけ

衛星の電波を拾うのは  
室内では無理  
以下のデメリットが生じた

- 本隊との連携はトランシーバによる
- 情報共有の不効率
- 適時性に欠ける結果に



# 支援部隊本部設営



担当の方に施設借用の  
交渉をする菅原リーダー

交渉の甲斐あり、立派な本  
部施設をお借りできました



# 近隣の医療機関の状況把握

院長名：〇〇 〇〇

担当窓口：□□事務長

病院の状況

余震がある・患者の搬入状況

電気・ガス・水などライフラインの状況

R \$ \$ \$ 通行可 R \* \* \* 通行不可

入院患者240名寝たきり10名弱(うち  
挿管2名)挿管を含めた10名弱の患者  
搬送経路(陸路・へり、独歩者)

DMAT \$ 隊派遣要請あり

上記内容を県庁本部に衛星携帯  
で連絡実施



# 土地勘のない者が構築した宮古



地域の病院、避難所、被災状況など視察・情報収集に、2名1組で 16:40～出動

支援地域全体を把握するには、簡単にでも地図が必要

特に避難所、ハザードの把握のために

手もとにない場合は、WEBで検索してプリントアウト物にて作成。



# 火気厳禁。湯煎は ^^;



体力・集中力のベストパフォーマンスのためには、適切な食事と休憩が必要。

イライラすると判断ミス、伝達ミスにつながりますよ！

栄養バランス不良の口内炎にも注意。

### 3. 11の名残の貼紙 チーム愛のメモリー



#### 「医療スタッフミーティング」

さまざまな形態で災害医療に関与している医療チームとの打合せ（DMAT、医師会、薬剤師会、NPO法人など）参加者の氏名・連絡先などを確認させていただくことが必要

# ～宮古保健所からのチーム愛～



## グループ I 発表

菅原(山形)、大熊(山形)、篠原(京都)、  
高橋(高知)、原(長野)、田花(大阪)